

KA JI MARU

鍛冶丸

第7号

平成29年
3月1日



郷土史を訪ねて③ 千保川を呑む③ 中流域篇 平成28年11月9日(水)
野尻城跡(徳仁寺)(南砺市野尻)

主な内容

- ・ 歩く博物館「雨晴海岸と太田^{ある}を徒く」 2
- ・ 博物館ボランティア募集 2
- ・ 千保川を呑む 中流域篇『郷土史を訪ねて③』 3
- ・ 茶室「松聲庵」のおはなし 4
- ・ 平成29年度会員募集のご案内 4

雨晴海岸と太田を徒く^{ある}

高岡市立博物館に親しむ会 会員 高木 保二

9月21日午前10時過ぎ、太田小学校前バス停で太田先生、樽谷先生の挨拶をいただいた後、ほんのり潮の香を含んだ秋風が心地よく感じられる浜街道を氷見方面に歩き始めました。今日は「歩く博物館」の開催日。

途中、「国泰寺左」道標があり、そこを右に曲がり「世界で最も美しい湾クラブ」(富山湾:平成26年10月加盟)の松太枝浜からの波の音を松原越しに聞きながら(立山連峰が見えないのが少し淋しかったです)、第一目的地「朝日山観世音出現霊址」碑に到着しました。

この碑の前で、樽谷先生より、伝説・民話・歴史を交えた氷見の上日寺の由来や長野の善光寺に似ている等の話を楽しく聞き、松太枝神社で一休みとなりました。

続いて、国指定史跡「桜谷古墳群」の1号墳の前で、古代の成り立ち、当時の文化の高さ、豪族の地位、発掘時の説明を始め、県西部には非常に多くの古墳があることや、現代のお墓と比較した分かりやすいお話を聞きました。

そして、一番関心のある「ガン封じ観音」の宝聚山辰口寺をお参りし(ボケ封じ寺があればと思いつつ・・・)、伝説の義経岩を直に見ながら、ここで採石された岩崎石(高岡城や住宅の土台石に使用されている)を切り出した痕跡の「矢穴」の説明がありました。

それから、浜辺を歩き、渋谷川に沿って氷見線の下をくぐり、高岡市最古の万葉歌碑や、法林山大安寺跡を見ながら、遠く石動山を眺めて、雨晴駅に到着しました。このホームからそばの「首切地蔵尊」の説明も聞きました。

久し振りに氷見線に乗り、その昔、父親に海水浴に連れてきてもらったことを想い出すと同時に、変わらぬ日本海と二上山、そして立山の景色がこれからも続くようにと心から願いました。

余談・「雨晴」駅は旧国鉄時代に伝説からとった駅名として全国2駅の内の1つで、もう一つは「白兔」駅(鳥取市 大正14年開業 昭和43年営業終了)。
・女岩は、運が良ければ冬に陸続きになるそうです。

「見たことのない」、「知らない」、「聞いたことない」ばかりで、文字通りの「ふるさと再発見」ができた良い機会だったと思いました。

また、知人、旧友とも会えて、楽しく参加させていただき、太田先生、樽谷先生のお二人には本当に感謝申し上げます。万歩計は12,500歩を刻んでおりました。



太田小学校前



桜谷古墳群



辰口寺



義経岩



義経岩の矢穴痕

高岡市立博物館ボランティア募集

高岡市立博物館では、博物館事業・親しむ会事業の各種イベントの駐車場誘導や受付等を手伝っていただけるボランティアを募集しています。

<ボランティアの主な内容>

- ・総会、呈茶席事業、歩く博物館事業、屋上開放(桜の時期)、郷土学習講座等の受付など
- ・各種イベント等の駐車場誘導

○ボランティアの申込は博物館事務所に随時受付しております。



『郷土史を訪ねて③』

高岡市立博物館に親しむ会 会員 島 寿男

前日より最高気温が12度も下がる予報通り大変寒い11月9日、「千保川を呑む 中流域篇」が開催され、樽谷先生を先頭に午前8時にバスで博物館鍛冶丸をいざ出陣。

一路北へ、左に二上山を見て、鎌倉時代の守護所跡(放生津城跡)を目指す。新湊地区を抜けて内川に出る。内川周辺は日本の「ベニス」とも呼ばれるが、この川は自然の川か？造られた水路か？説は、半々らしいが流れの緩い川は海に出るとき、波風や砂丘を超えることが出来ず海岸線と平行に流れることがあることから、私は自然の川の説を採る。

二の丸橋で右折、城跡の放生津小学校へ、「二の丸町」は城の二の丸があったことから地名に残ったそうだが、本丸は小学校のグラウンドの下に眠り、放生津城跡の石碑のみが残っていた。

姫野を通り、車中にて「庄」・「保」・「荘」・「条」の解説がある。いつも気になる中曽根神社玉垣の「キツネ」は鑲絵の名人竹内源造の作と知りました。

庄川を渡り左岸川上の二塚へ、「恒性皇子」の墓を見る。ここは富山県で唯一の宮内庁管轄地で、ちなみに石川県では野田山の「富姫」の墓も宮内庁管轄地です。そして「気多社」へ、二塚と言えば十村大坪家、「満姫」の実家はどの辺りとおつづやけば、あの辺りと車中の人達が教えてくれる。

次いで、城端線林駅近くの鹿嶋神社へ向かう。この辺りは平安時代末期から約400年続いた公家・徳大寺家の荘園「般若野荘」の北限とかで、諏訪の神を一蹴した高天原系最強武神鹿島の神の社が建っている。大和朝廷が今の茨城県鹿嶋市に鹿島神宮を鎮座させて北ににらみを利かしたと同様に、荘園の守りとしたのか。また戸出春日には徳大寺家(藤原氏)の氏神の春日神社が建っている。金屋町に「般若」の姓が多いのはこの荘園の名前からとったと聞きました。

次に、砺波市安川の公卿塚を見て、臨済宗国泰寺派の般若山薬勝寺へ向かった。この寺で思いがけず湯茶の接待を受け、冷えた体に美味しくいただき感謝です。本堂には今年の回忌表が貼ってあり、一番古いのは350回忌(寛文7年)とあり、この方の子孫も分かる寺の奥さんが言われた。境内には後花園天皇の皇子親王が下向の折に殺害され葬られたという伝承の親王塚があり、宝篋印塔が建っている。この伝承は1545年にこの地で殺害された荘園領主の徳大寺実通の事件と重なるそうです。

時雨の中、砺波市油田へ。この地名は鎌倉時代の記録にあるとのこと。バスは南砺市野尻、城端線東石黒駅と巡り、予定時間を超過したが、車内にこのあたりの地理に詳しく、「自分の庭」と称する女性の案内で、近道で「川金」に到着し、予定時間に間に合い全員で感嘆した。

宿では樽谷先生から「中世越中の荘園」と題した講義が始まった。内容は平成24年放映のNHK大河ドラマ「平清盛」の「般若野荘」ゆかりの徳大寺家(藤原氏)の待賢門院璋子の話題であった。いつの時代にも見てきたように醜聞を書く三面記事の記者はいるもの。曾祖父に可愛がられすぎて、父に「叔父子」と忌み嫌われた「崇徳天皇」はかわいそう。もちろん確かな根拠がなく、「保元の乱」(1156年)に絡んだ俗説かも。

先生の話が弾み、時間超過で鮎を焼く職人さんを困らせたようです。やっと食事、本題の「千保川を呑む」の若鶴酒造の「苗加屋」を飲み、席も盛り上がり、会員相互の親睦を深め、今に続く旧公爵・徳大寺家当主の名刺を見せる人もおり楽しく過ごしました。今回も先生の伏流水のごとく湧き出るお話に教えを受け、寒空なのに心地よいほろ酔い気分、一人微笑む温かい1日でした。



般若山薬勝寺



親王塚



公卿塚(九人塚)



野尻城(徳仁寺)



講義「中世越中の荘園」

茶室「松聲庵」のおはなし

高岡市立博物館に親しむ会 会員 西 範子



松聲庵

高岡の茶室についてスマホで検索したところ、最初に表示されたのは「高岡市立博物館松聲庵」であった。これは昭和46年10月に裏千家淡交会高岡支部から市に寄贈され45年の歴史ある茶室である。当時は、頻繁に茶会等が催されていたと聞かすが、その後は忘れられがちになっていた。しかし、平成25年3月に「高岡市立博物館に親しむ会」が設立されてからは、親しむ会主催などの茶会が年間を通じて開催され、茶室の良さが広く知られるようになった。また、この貴重な茶室については、学芸員より直接説明が聞ける茶室見学説明会が随時開催されており感動も大きいものと思われる。

平成28年度に「松聲庵」にて開催された茶会や呈茶の様子を写真と共に紹介したい。

- ・博物館主催の茶会「呈茶の会」年2回（同時開催：常設展示説明会・屋上案内等）
 - ・博物館に親しむ会主催の「呈茶席」年8回（春4回・秋4回）
 - ・万葉まつり子供茶会 「高岡万葉まつり」の内の2日間（土・日）
- その他2～3回の利用があると聞いている。



呈茶の会

それでは、茶会と呈茶の違いは？茶会は、客を招いて、茶を供する会。呈茶は、お茶を点てて差し上げること。呈茶は気楽にお茶を楽しんでいただける会である。

平成28年11月5日の博物館主催の茶会では、外国の方の参加により国際的な雰囲気茶会を皆さんに楽しんでいただいた。また、大勢の方々の参加により博物館の茶室「松聲庵」に親しみをもちただけたと思う。学芸員の方々との共同により成し得たこの茶会を担当した者として感謝している。



呈茶の会

平成29年度の企画がより充実され、皆様に心待ちにさせていただける内容と共に、気軽に茶室での語らいを楽しんでいただければ、「博物館に親しむ会」会員の一人として嬉しく思う。

四季折々に心を豊かにしてくれる憩いの場としての高岡古城公園「鍛冶丸」にある博物館でロマンを楽しみませんか。



茶室見学説明会



博物館屋上案内



常設展示説明会



呈茶の会

平成29年度

会員募集のご案内

高岡市立博物館に親しむ会では、博物館の活動を支援するほか、高岡の歴史と文化に親しみ、相互に親睦を図る活動を行います。あなたも会員となって、郷土への理解を深め、市民に親しまれる新しい博物館づくりに参加してみませんか。

- 主な活動
 - ・博物館の諸活動の協力、支援
 - ・高岡地域の歴史と文化に親しみ、互いに親睦を図る活動
 - ・ミュージアムショップの運営 ほか
- 年会費
 - ・一般会員 1口 1,000円
 - ・賛助会員 1口 5,000円
- 会員の特典
 - ・企画展、特別展、講演会などのご案内
 - ・歩く博物館行事への参加、高岡古文書ボランティアでの活動、呈茶席などのご案内
 - ・会報誌「鍛冶丸」の送付
 - ・郷土学習講座等の受講料割引
 - ・図録の進呈（賛助会員のみ）
- 申込方法
 - 直接、事務局に申し込みする場合は、入会申込書に必要事項を記入のうえ、会費を添えて「高岡市立博物館に親しむ会」事務局へお申込みください。入会申込書は「高岡市立博物館に親しむ会」のホームページに掲載しております。
 - 郵便振り込みをご利用の場合は、振込用紙「振込取扱票」に以下の項目をご記入の上、郵便局にてお振込みください。なお、振込手数料は各自でご負担をお願いいたします。
 - ・口座記号：00760-8
 - ・口座番号：100749
 - ・加入者名：高岡市立博物館に親しむ会
 - ・金額：年会費の金額
 - ・ご依頼人：郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、電話番号、性別、年齢



高岡市立博物館に親しむ会 広報部会

■事務局 〒933-0044 高岡市古城1-5 高岡市立博物館内

TEL 0766-20-1572 FAX 0766-20-1570

HPアドレス <http://www.e-tmm.info/> メールアドレス info@e-tmm.info